

令和 3 年度一般財団法人富山市大沢野健康文化推進財団事業計画

当財団は、富山市より令和 3 年度から令和 5 年度までの富山市大沢野健康福祉センター・老人福祉センターの指定管理者として、引き続き快適で安全・安心な施設として管理運営に努めてまいります。

また、大沢野地域スポーツ施設及び都市公園等についても、令和 3 年度から令和 5 年度までの指定管理者として管理運営をより充実させ、健康づくりやスポーツ活動の拠点施設としてより質の高いサービスの提供と業務の効率化に努めてまいります。

令和 2 年度は、新型コロナウイルスの感染拡大と改修工事により 4 月から 8 月まで 5 か月間にわたり健康福祉センターは臨時休館し、9 月再開後も新型コロナウイルス感染拡大の継続により、会員利用では前年の 20% 減、ビジター利用では前年の 40% 減、年間利用では前年の 60% 減と大幅に減少することが予想されます。

そのため、令和 3 年度は新型コロナウイルスの感染状況を見極めながら入館制限などの感染防止対策を徹底しながら、利用者が安心して利用していただけるよう運営に努め、利用者数の回復に向け多様な企画の導入に努めてまいります。

さらに、これまで培ってきたノウハウを活かした柔軟なサービスを展開するとともに、ホームページなど魅力ある情報を計画的に発信し、利用者の増加に努め、これまで以上にコスト削減、事業の効率化を進め、健全な経営を目指してまいります。

1. ビジター利用の増加対策

- ① 令和元年度から導入した「7・8月を除く毎週日曜日、小学生以下半額の日」の企画は、予想以上に効果が出ているため、引き続き実施してまいります。
- ② 料金改定によりビジター利用の減少が増加しているため、新たにプール利用のビジターを対象に「10 回利用して、1回無料にするスタンプカード」を導入し、利用者の増加に努めます。
- ③ 7・8月の2か月で、ビジター利用の 50%を超えるため、リピーターに繋がる企画により利用者の増加に努めます。

2. 健康づくり事業と介護予防事業

市民の健康づくりや介護予防への関心が、年々高まっており、当施設の機能を十分に活用した健康づくり・介護予防の事業を実施します。

① 健康増進事業

トレーニングスタジオや屋内プールを利用した運動指導及びレッスンの実施

② パワーリハビリテーション(パワリハ)事業

- ・要支援1・2、介護予防が必要な方を対象とした事業の実施
- ・市直営パワリハ終了者を対象とした事業の実施

- ③ 健康情報の収集と提供
 - ・健康、運動情報紙の発行
 - ・ホームページによる情報の提供
- ④ 健康イベントの開催
 - ・イベントレッスンの開催
- ⑤ ニーズに即した事業の実施
 - ・水中ウォークや健康教室の開催
 - ・託児付教室の開催
- ⑥ 受託事業の実施
 - ・健康教育事業等の実施

3. 富山市大沢野健康福祉センター・大沢野老人福祉センターの管理運営

富山市から公の施設の指定管理者に指定された管理運営業務について、仕様書に基づき実施します。

- ① 「ウインディ」の利用者増加を目標に、施設の特徴をPRするなど、積極的な営業活動に努める。
- ② 適正な施設管理を通じた環境負荷の低減に努める。
- ③ 「お客様の意見」の実施により、お客様のニーズの把握に努め、施設機能などの改善に努める。
- ④ ロビーを利用した個展、ミニコンサートなどイベントの実施
- ⑤ 施設各室の利活用
- ⑥ 職員のモチベーション、スキルの向上
- ⑦ 職員の接遇等、研修の実施

4. 富山市大沢野地域スポーツ施設及び都市公園等の管理運営

富山市から公の施設指定管理者として、指定されたスポーツ施設、公園施設の管理業務について、仕様書に基づき実施します。

- ① スポーツ施設の管理運営
 - 機能を良好な状態に保持し、事故防止に努めながら、コストの縮減、利用者満足度の向上、利用者の安全・安心を基本として事業を実施します。
 - (対象施設)
 - ・富山市大沢野総合運動公園陸上競技場他 3施設
- ② 都市公園等の管理運営
 - 憩いの場として、良好な景観を保ち、利用者の安全で快適な公園づくりに努めます。
 - (対象施設)
 - ・富山市猿倉山森林公園他 4公園

令和3年度 収支予算書（正味財産増減計算ベース）

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

一般財団法人 富山市大沢野健康文化推進財団

（単位：千円）

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	2	6	△ 4
基本財産受取利息	2	6	△ 4
② 事業収益	127,728	133,618	△ 5,890
入会金収益	234	303	△ 69
会費収益	60,481	66,539	△ 6,058
利用料収益	56,050	55,014	1,036
分担金収益	4,287	4,287	0
手数料収益	5,351	5,635	△ 284
物品等売上収益	1,325	1,840	△ 515
③ 受取受託金	148,831	145,491	3,340
受取受託金	148,831	145,491	3,340
④ 受取補助金等	59,966	52,675	7,291
受取補助金	59,966	52,675	7,291
⑤ 雑収益	172	175	△ 3
受取利息	1	6	△ 5
雑収益	171	169	2
経常収益計	336,699	331,965	4,734
(2) 経常費用			
① 事業費	313,145	310,995	2,150
給与手当	19,780	17,411	2,369
賃借料	59,344	58,983	361
退職給付費用	1,012	837	175
法定福利費	10,206	9,686	520
厚生費	1,770	960	810
通勤費	2,150	2,209	△ 59
福利厚生費	653	653	0
交際費	122	122	0
旅費	11	11	0
通信運搬費	1,441	1,604	△ 163
消耗品費	11,628	11,730	△ 102
修繕費	12,838	6,309	6,529
印刷製本費	209	209	0
燃料費	31,460	33,330	△ 1,870
光熱水費	73,860	79,202	△ 5,342
医薬材料費	3,538	3,817	△ 279
使用料賃借料	7,895	8,021	△ 126
使賄材料費	204	204	0
保険料	813	815	△ 2
食糧費	42	42	0
謝礼金償費	20	20	0
広告宣伝費	2,149	2,177	△ 28
公租公課費	6,551	6,607	△ 56
公負担金	144	144	0
減価償却費	1,300	1,300	0
委託手数料	60,910	61,494	△ 584
手聞回数	1,194	1,197	△ 3
新聞図書費	343	343	0
新物品等仕入費	1,312	1,312	0
研修費	246	246	0

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
② 管理費	23,554	20,970	2,584
報 酬	7,256	7,256	0
給 与 手 当	5,692	3,579	2,113
賃 金	3,034	2,945	89
退 職 給 付 費 用	435	266	169
法 定 福 利 費	2,695	2,268	427
厚 生 費	330	180	150
通 勤 費	247	189	58
福 利 厚 生 費	43	43	0
通 信 運 搬 費	111	111	0
消 耗 品 費	9	9	0
修 繕 費	62	102	△ 40
燃 料 費	616	675	△ 59
光 熱 水 費	1,275	1,339	△ 64
使 用 料 賃 借 料	194	194	0
保 險 料	64	64	0
食 糧 費	6	6	0
謝 金 報 償 費	13	13	0
公 租 公 課 費	350	306	44
負 担 金	68	68	0
委 託 料	120	423	△ 303
手 数 料	926	926	0
新 聞 函 書 費	8	8	0
経常費用計	336,699	331,965	4,734
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	4,576	4,701	△ 125
一般正味財産期末残高	4,576	4,701	△ 125
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	2	6	△ 4
基本財産受取利息	2	6	△ 4
一般正味財産への振替額	△ 2	△ 6	4
一般正味財産へ振替	△ 2	△ 6	4
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	30,000	30,000	0
指定正味財産期末残高	30,000	30,000	0
III 正味財産期末残高	34,576	34,701	△ 125